

福岡商工会議所支店長会 第23回定時総会

9/26

支店長会「ランチ・コミュニケ」(会長＝草田哲也・アサヒビール(株)福岡統括支社理事福岡統括支社長)は、第23回定時総会をホテル日航福岡で開催。過去最多の45名が参加した。

総会では2017年度事業報告並びに収支決算、2018年度事業計画並びに予算(案)について審議し、原案通り承認された。総会終了後は懇親会を開催し、会員相互の近況報告や交流懇親を深めた。



第50回全国商工会議所女性会連合会岩手総会

10/3

福岡商工会議所女性会(会長＝森純子)は、盛岡市で開催された「第50回全国商工会議所女性会連合会岩手総会」に参加。全国各地から308女性会1,451名が参加した。

全国大会では全国商工会議所女性会連合会に功労のあった者を表彰する「特別功労者表彰」が行なわれ、当所女性会顧問の(株)博多石焼 大阪屋 取締役会長 西川ともゑ氏が表彰された。また、記念講演会では、(株)モスフードサービス 代表取締役会長 櫻田厚氏が『食を通じて人を幸せにするモスバーガーの理念経営』と題し、講演を行った。



福岡商工会議所女性会10月例会

10/17

福岡商工会議所女性会(会長＝森純子・(株)如水庵 取締役副社長)は、女性会会員の和智法律事務所 弁護士 和智凧子氏を講師に迎え、『今どきの家事事件』をテーマに10月例会を開催。36名が参加した。

和智氏からは、離婚(離婚事件)や相続(遺産分割事件)等について幅広く説明があった。また終了後には、理事会の報告が行われた。



▲和智氏の話に熱心に聴く参加者

福商「おもてなし」コンクール基調講演会

10/17

当所情報・文化・サービス部会(部会長＝永江静加・(株)インターナショナルエアアカデミー代表取締役会長)は、福商「おもてなし」コンクール基調講演会を開催。部会員をはじめ経営者や接客担当者など40名が参加した。

今回で3回目となる本事業は、おもてなしの重要性を知ってもらう「基調講演」、自社独自のおもてなしを考える「講座」、自社のおもてなしを発表する「福商『おもてなし』コンクール」の3ステップで開催。今回の基調講演では、永江部会長が講師を務め、「ドラマ+愛+想定外の気づかい＝おもてなし12か条～」をテーマに、幅広い業種で活用できるおもてなし術を説明。また、第2回おもてなしコンクールで部会長賞を受賞した新日本製薬(株)より、自社の取組みの紹介があった。参加者からは「とても充実した内容で、自社の『おもてなし』について振り返る良い機会となった」といった声が聞かれた。



▲永江部会長の講演を熱心に聞く受講者

III. 信頼される福岡商工会議所(基盤の強化)

福岡市政に対する提言

10/1

当所は、「福岡市政に対する提言」を福岡市の高島市長と福岡市議会の川上議長に提出した。藤永会頭は「中小企業・小規模事業者は、人材不足・働き方改革・事業承継・IT活用による生産性向上といった様々な経営課題に直面している。地域活性化や中小企業支援施策を積極的に推進し、福岡市との協働を強力に推し進めたい」と述べた。高島市長からは「これまで同様、商工会議所の皆さんと一体となってぜひ成長戦略を推し進めていきたい」と力強い回答があった。



福岡県商工会議所連合会 第131回通常会員総会

10/2

福岡県商工会議所連合会(会長＝藤永会頭)は、北九州市で第131回通常会員総会を開催。県内19商工会議所の会頭、副会頭、専務理事ら45名が出席した。藤永会頭は「各地で大規模な自然災害が続いているが、これらの被害からの復旧・復興に向け、県内の商工会議所が一体となって努めたい」と挨拶した。総会では、昨年の九州北部豪雨で被害を受けた事業者の支援策や、中小企業の活動基盤の強化、経済活動に必要なインフラ整備など盛り込んだ要望案を審議し、原案通り承認された。総会後には「安川電機ロボット村」を視察し、その後の懇親会では、小川県知事や北橋北九州市長らを来賓に迎え、交流を深めた。



▲総会冒頭で挨拶をする藤永会頭

平成30年度第1回新入会員交流会

10/9

当所は、入会3年未満の会員事業所を対象に、平成30年度第1回新入会員交流会を開催。87社114名が参加した。第1部の「事業ガイダンス」では、会員事業所より3名が当所の活用事例等について発表した。第2部の「会員交流会」には会頭、副会頭、部会長、副部会長も参加し、参加者同士積極的に交流・親睦を深めた。参加者からは「多種多様な業種の方と名刺交換でき、人脈形成の第一歩となった」「今後のビジネスに繋がりの話があった」「次回訪問の約束ができた」等の声が聞かれた。



▲自社の商品・サービスをPRし合う参加者達

会 議 等

福商ビジネス倶楽部 9月例会

9/25

福商ビジネス倶楽部は、当所にて9月例会を開催。68名が参加した。今回は昨年度、大好評であったビジネスチャンスの創出に特化したマッチングイベント「ビジネスフェスティバル」の第三弾として開催。申込時の情報をもとに事前マッチングをおこない、当日は15分×4クールに分け実施。参加者からは、「今後のビジネスにつながる深い話があった」といった声が聞かれた。



▲限られた時間でビジネスチャンスを創出する参加者達

I. アジアの拠点都市を目指し福岡の活力を高める

RWC関連イベント

9/26,30,10/7

ラグビーワールドカップ2019™福岡開催推進委員会(会長＝藤永憲一 福岡県商工会議所連合会会長)は、関連イベントを開催し大会に向けて機運醸成を図った。

福岡開催初戦のちょうど1年前となる9月26日には、キックオフセレモニーを開催。また、30日には、開催都市特別サポーター委嘱式が行われ、福岡市出身の女優、橋本環奈さんに福岡の開催都市特別サポーターを委嘱した。藤永会長は「強力なサポーターとして福岡開催のPRや盛り上げにいろいろな場面で協力していただきたい」と呼びかけ、橋本さんは「同世代やいろいろな人に大会を広めていきたい」と意気込みを語った。当日のソフトバンクホークス戦ではRWC2019日本大会九州開催都市スペシャルデーとしてRWCのPRや橋本環奈さんによる始球式が行われた。

10月7日には(公財)日本ラグビーフットボール協会と共催でアジアラグビー交流フェスタを開催。日本を含むアジア8カ国16チームが参加し、14歳以下のU14で試合を繰り広げ交流を深めた。



▲JIR博多駅前で開催されたキックオフセレモニー



▲藤永会頭と特別サポーターの橋本環奈さん

Food EXPO Kyushu2018

10/3-8

Food EXPO Kyushu実行委員会(当所、福岡県、福岡市、福岡県商工会連合会、ジェトロ福岡、福岡地域戦略推進協議会)は、「Food EXPO Kyushu2018」を開催。世界的にも優れた九州の食を世界に発信し、地場食品関連企業の更なる売上げ向上、販路拡大及び地域経済の振興を目的とし、今回で5回目となる。

10月4～5日の2日間は、福岡国際センターにてBtoB事業である「国内外食品商談会」を開催。219社・団体が出展した。会場では、展示商談会や個別商談会を実施し、2日間で約4,300名が来場した。5日は国内外バイヤーと出展者による海外市場のトレンドに関する事例発表会を開催。また6日には、出展企業の生産場所をバイヤーが訪問する訪問商談会を実施した。今年は「九州・山口こだわりの食」大商談会と同時開催し、イベントを一層盛り上げ、九州の食の魅力をより強く発信した。

10月7日～8日の2日間は、天神中央公園にてBtoC事業である「九州うまいもの大食堂」を開催。九州・沖縄各地から選りすぐりの65社・団体が出店した。6日が台風25号の影響で中止となったが、2日間で約91,000名が来場し、大盛況であった。



▲【国内外食品商談会】会場には国内外から多くのバイヤーが訪れた。



▲【九州うまいもの大食堂】多くの方が公園内で飲食を楽しんだ。